

「はこだて医療・介護連携サマリー」の試験運用継続へのご協力のお願について

函館市医療・介護連携支援センター
センター長 檜木 賢三

時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、函館市の医療・介護関係者の連携を推進するため、函館市医師会を始めとした各専門職の職能団体の代表により全市的な規模で組織された『函館市医療・介護連携推進協議会』では、関係者の情報共有のあり方を協議するため、有識者による「情報共有ツール作業部会」を設置し、地域で統一された情報共有のためのツールの整備を進めてまいりました。

この度、病院、在宅および施設の間において、シームレスな状態で情報共有を行う事が可能となるよう、情報共有ツール「はこだて医療・介護連携サマリー」（以下、「サマリー」）を作成しました。

あらかじめご協力を頂いている一部の医療・介護機関等では、本年4月から試験運用として、このサマリーでの情報共有を実施しており、当初、本年11月からの正式運用を予定しておりましたが、皆さまにご協力いただいたアンケートやヒアリング調査の結果、このサマリーの様式を修正するとともに、試験運用の期間を延長することといたしました。つきましては、今後はこの修正版サマリーにより試験運用を継続して実施することとなりましたので、改めましてご協力をお願いを申し上げます。

記

- <情報共有ツール名称> はこだて医療・介護連携サマリー（試験運用 Ver. 2 H29.10.26改訂）
- <試験運用延長期間> 平成29年11月1日～平成30年1月31日
- <サマリー作成対象者> 以下の全てを満たす方
- ・平成29年11月1日以降に入退院される方
 - ・病院の場合は病状や生活・環境等の変化において退院調整支援が必要となった方
 - ・65歳以上の方、もしくは第2号被保険者で介護サービスを利用している方、またはこれから利用を希望する方
- <試験運用の内容> ①連携する情報提供元よりサマリーとアンケート調査用紙を受け取る
②アンケート調査用紙を記入する
③記載したアンケート調査用紙は、記入後すぐに函館市医療・介護連携支援センターまで送信する
- <アセスメント> ・情報提供していただく側（送る側）～ ヒアリングの実施による
・情報提供される側（受取側）～ アンケートの分析による
・実施時期 平成29年2月上旬

[お問い合わせ先]

函館市医師会病院内

函館市医療・介護連携支援センター 担当：佐藤，長谷川，柳谷

Mail：ikr-center@hakodate-ishikai-hp.jp

電話：43-3939 FAX：43-1199

